

【大会レギュレーション (TD通達)】

1. 大会運営 本大会の運営は、(公社)日本ホッケー協会2024年度版6人制ホッケー競技規則・競技運営規程、レギュレーション、大会レギュレーション (TD 通達) 及び有効な通達事項に則り行われる。
2. 競技規則 (公社)日本ホッケー協会2024年度6人制ホッケー競技規則による。
3. 競技時間 試合時間は7分間の4クォーター制とする。(ノンストップ方式)
第1・第3クォーターの後に1分間のインターバルとハーフタイムに5分間の休憩を設ける。

1 Q	インターバル	2 Q	ハーフタイム	3 Q	インターバル	4 Q
7分間	1分間	7分間	5分間	7分間	1分間	7分間

4. 時 計 試合時間は、テクニカルテーブルで管理する。
5. 競技方法 (1)男女とも、トーナメントで勝敗を決する。
(2)規定の時間内に勝敗が決しないときは、延長戦は行わず、試合終了後ただちに「6」に定めるシュートアウト戦 (以後「SO 戦」とする) を行い、勝敗を決する。
6. シュートアウト戦 (SO 戦)
 - (1)両チームの監督は、レッドカードによる退場処分を受けている選手を除いた、公式試合記録に記載された選手の中から3名の選手と1名のゴールキーパーを指名する。
 - (2)両チームの主将によりトスを行い、先攻・後攻を決める。その後、両チーム3名ずつの選手により交互に攻防を1巡行い (計6回)、得点の多いチームを勝者とする。なお、勝敗が決した時点で終了する。
 - (3)(2)の方法によって勝敗の決しない時は、両チームが同数の攻防を行った中で最初にリードしたチームを勝者とする再SO戦を行う (サドン・デス方式)。この場合、選手はプレイ不可能な者を除き各チーム同じ選手により先攻後攻を入れ替え、SO戦を行う。ただし、攻撃を行う順番は変えても良い。
 - (4)SO戦においてPSになった場合は、当該SO実施選手に限らず公式試合記録に記載された選手のPSを実施することができる。
7. 試合の中断
天候などやむを得ない理由等によりTDが判断し試合が中断された場合は、下記により試合を再開する。
 - (1)中断した時の得点で残りの時間のみ試合を行う。
 - (2)期日・競技場・審判員等は、同じとは限らない。
8. チームベンチ
1チームの編成は、監督1名、コーチ1名以内、手当てをする者2名以内、その他役員1名以内、**選手30名以内**とする。チームは、試合毎に大会参加申込書に選手として記載された最大30名の中から、**最大12名までの選手を試合に出場 (ベンチ入り) させることができる**。出場させる選手は試合毎に異なっていてよい。※選手は1～30の番号をユニフォームの定められた場所に明示する。
※参加申込みの際、同一校・同一クラブの男女チームの監督を兼ねることはできない。監督とコーチの兼任は可とする。ただし男女それぞれのチームでJHAのチームスタッフ登録を済ませていること。

※学校部活チームの監督については教員または、部活動指導員であること。クラブチームにおいては、監督またはコーチのどちらかは指導者資格を有する者がベンチ入りすること。(JSPO：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ3以上)

※手当者は大会開始日に20歳以上の者でJHAチームスタッフ登録を済ませること。

※チームベンチには、スターティングリストに記載された者以外は入ることができない。(ただし、学校長、チーム代表者、ベンチには入れない3年生等、TDの許可を受けた者はこの限りではない。このことは監督会議で確認する。)

9. フィールドへの立ち入り

試合中、選手にケガ等が起こった場合は、ベンチ内にいる手当てをする者の1名及び監督・コーチどちらか1名が、当該審判員の許可を得てフィールド内に入り、手当てを行うことができる。(ただし、その際にコーチングをすることは厳禁)

※中学生を指導している実情を考慮し、負傷時当の対応としてコーチを特例として認める。

10. 選手の交代

(1)各チームは、試合中随時どの選手でも交代できる。その際ビブス等(ユニフォームと異なる色)を使用して交代することを推奨する。但し、PCが与えられている間は、誰も交代できない。(負傷した守備側のGKは除く)

(2)一時退場(グリーンカード：1分間、イエローカード：2分間以上)中の選手に対する交代は、当該選手の退場時間中は許可されない。

(3)選手の交代は、センターライン付近で行われる。その際、時間の停止は行わない。但し、GK及び負傷者の交代については、審判員の管理下で行われる。

11. 確認事項

①今大会では、選手確認の方法を昨年度と同様にする。そのための、チームは事前にシステムの「会員証一括印刷」より顔写真入りの会員証を印刷し、選手各自がネックホルダーに吊り下げて提示する。(カラーまたは、白黒印刷は問わない。)

②今大会では「スターティングリスト」の提出は行わない。試合開始15分前に次試合チームは、「次試合チームエリア」で待機するとともに、監督がベンチ入りメンバー(選手は12名以内)とスターティングメンバー(6名)を担当競技役員に申告する。次試合チームエリアでは、競技役員により選手確認、リングパス、服装・装具の点検を行う。

③ユニフォームは必ず2着用し、試合会場(ベンチ)に持参すること。

④選手はすね当てを必ず着用し、ストッキングを上まであげて履き、膝は隠さないこと。また、マウスガードは必ず着用すること。ただし、特別な理由があつて装着できない場合は、「未装着届」を必ず提出すること。

⑤キャプテンは、上腕または、ストッキングのどちらかにキャプテンマークをつけること。(黒以外の色)

⑥GKは、ケガの防止のため装具を完全に着用すること。また、アンダーパッドは必ず使用すること。(チームの責任で遵守すること)

⑦チームベンチは、[競技日程表]左側のチームがテクニカルテーブルからコートを見渡せる方向から見て左側のベンチとする。

⑧PCで使用する保護具は試合開始前に事前に担当TOに使用確認すること。

⑨応援者は、主催者の指示に従うこと。(保護者など応援者からの抗議等には一切応じない。監督は、保護者による抗議等はできない旨を事前に説明しておくこと。)

⑩試合中、乱暴なプレイや審判員に対する誹謗等スポーツマンらしくない行為は、厳に戒める。なお、全チーム監督は「行動規範確認書」に署名し提出する。

⑪選手が負傷により出血したときや頭・顔・心臓付近にボールが当たったときは、審判員が負傷の状況を確認し、退場を命じたときは本人・チームの意向とは異なつたとしても、安全確認のため直ちに退場すること。止血処理と傷の手当てが完了するまでは、再出場できない。(試合時間で2分間以上の安静)

⑫試合開始時、選手が6人に満たない場合でも試合は成立する。ただし、GKは必ず配置しなければ

- ばならない。なお、棄権または試合中に退場・怪我等により、1チームの人数が3名以下になった場合は、その試合は没収試合とする。没収試合があった場合は、相手チームの不戦勝とする。
- ⑬「負傷・事故報告書」の提出を課せられた者は、医師による治療後、負傷・事故報告書をTOまたはTDに提出する。本人への健康確認のうえ、次試合の出場を認める。試合が無い場合は、負傷・事故報告書を大会事務局に郵送すること。
 - ⑭今大会において、抗議制度はない。
 - ⑮試合終了後、両チームの監督は、テクニカルテーブルで公式試合記録に署名すること。
 - ⑯その他、本レギュレーションに定めのない事項または、不測の事態が発生した場合は、TDの指示に従うこと。
 - ⑰PCが与えられたとき試合時間は停止されない。また、準備のために40秒間の計測はしないが、守備側プレイヤーのフェイスマスク、保護用グローブ、膝当て等の着用は速やかに行うこと。
 - ⑱個人罰則について、競技時間中にグリーンカードは1分間退場、イエローカードは2分間以上の退場処分が科せられる。退場時間の長さはカードを提示した審判員からTOに伝えられる。退場時間の管理は、TOが行う。
 - ⑲メーカー識別標章（マニュファクチャャーロゴ）については、JHAユニフォーム規程に示されたことを原則とする。現在使用しているユニフォームについては、義務教育下であることを考慮し、監督会議にてTDの判断により対応を指示する。ただし、これから新しいユニフォームを作成する場合は、ユニフォーム規程に準じたものを作成すること。